

資料3

新たな 都立中央図書館整備に 係る有識者会議 (第2回)

令和7年12月24日



目次

1 前回会議の主な御意見

2 御意見を踏まえた検討内容

- (1) クリエーションの分類及び他施設でのクリエイションの例
- (2) 利用者目線で見えた活動イメージ
- (3) 図書館に設けるサービス・空間のイメージ
- (4) 新たな図書館の施設構成イメージ

前回会議の主な御意見 ～3つの機能を実現するサービス等～

【クリエイションとは何か？】

- クリエイションはいろいろな意味を持つ。精緻に詰めていく前に、例えば知のクリエイションや関係のクリエイション、時間・空間のクリエイション等、いわゆる編集の観点も入れながらクリエイションを様々な切り口で分類し、可変性の高い建築デザインや空間、都市とつながるような解放的な構造を志向していけると良いのではないか。
- 知りたい時の選択肢としてLibrary for Creationがあり、何か知りたいからやったことがない体験をする、手を動かす、知らない誰かに会う、そういうクリエイションが入り口になってこの図書館があると魅力的
- ものを作る以外にも、知的好奇心を喚起する瞬間そのものがクリエイティブ。知る・学ぶ・知を経験することに慣れていない人へのアプローチが大切

【サービスの方向性】

- 資料を貸し出さない都立図書館では、本がずっとそこにある、置かれたままであることが大きな魅力。
例えばテーマ配架のようなものなど、貸出をしない図書館ならではの創造的活動が可能
- ここに来たら面白い本や遊び道具に出会える場、公的な場としての出会いの創出が大切
- インプット型の図書館ではなく、考えてみたい、創りたい、という気持ちを後押ししていくことで、創作や試行錯誤、対話のプロセスに光が当たるような工夫ができると良い。
- 五感を喚起する体験や体を動かすこと、STEAM教育の観点から“知る”と“創る”の循環を重視した場づくりが重要
- 図書館の資料は、時を超えて昔の物が今この目の前に現れて、それに触れることができるという意味でタイムレス。
時間や成長を感じられる場や体験ができると良い。
- 利用者が作り出した学びの成果や経過をコンテンツとして集積し、それを他の利用者が見たり使ったりして新たな学びを起こすことが重要。人が学んだ過程や結果が蓄積されることで、時空を超えて他の人が学べる。

前回会議の主な御意見 ～3つの機能を実現する施設構成等～

【新たな図書館の空間構成・建築デザイン】

- 何百年、何千年も残ってほしいと思えるような、あの場所に今後未永く残っていく建物であってほしい。
- 賑やかな場所と静かな場所が階層性を持ち、相互関係を持つような新しい図書館の空間設計が重要
- 建物自体の魅力や外観、中の造りによって、誰もが行きたくなる“東京で一番の図書館”を目指すべき
- 「図書館は図書館」という縦割りにならないことが重要。間違っても、「再開発の箱のビルの中のこのフロアは図書館に割り当てます」というフロア構成にならないようにすべき
- 敷地内の琵琶池等、地域資源の活用や、高低差を活かした空間設計も重要なテーマ
- 「開かれている感じ」「迎えられている感覚」を持たれる仕掛けが大事。屋外とのシームレスな場や半屋外的な空間、静かに過ごせる場、ものづくりの場など、グラデーションのある空間が必要。ヘルシンキの図書館では、これら分断されず、グラデーションの中で分かれている。
- 石川県立図書館は、子供の賑やかな遊びから、書棚空間の一番上層部分では専門書が並ぶ等、階層化が考えられている。
- ライブラリアンが自分たちの個性を生かす場にしていくことも重要。石川県立図書館では、司書が棚を一つずつ持って、それぞれのジャンルで自分たちで本の配列を決めているが、「ライブラリアンが生き生きする図書館」という視点も極めて重要。

前回会議の主な御意見 ～運営手法等～

【実施主体・運営手法】

- 運営の中で司書、ライブラリアンだけで全てをやるというのは限界。立地の特性も活かして、人や学校、企業などとの連携・協力を含め、協働的な運営を行うことが望ましい。相乗効果を発揮していけるとよい。
- まちづくりとして一体にできることを生かし、図書館の管理・運営できない部分を他の機能がカバーできると良い。
- 市民参加型の制度や、共創予算など、未来世代に貢献したいという人の受け皿や、その人たちの気持ちを表現する場や装置を作っていけるとよい。

【DXの活用】

- AIを使って蔵書を探索するシステムが横浜市立図書館や沖縄県立図書館に導入されている。多摩や島しょ地域の都民、ツーリストやリモートワーカーなど多様な利用者を見据えることが重要でありDXの活用は必須。
- 都立図書館のデジタルアーカイブについて、他のミュージアムとの横連携が可能なのではないかと。

【多様性・アクセシビリティ】

- ダイバーシティやエクイティ、インクルージョンを重視し、障害のある方への配慮（触る絵本、3Dプリンター、リンゴの棚など）や読書バリアフリー、ユニバーサルデザイン、サイン計画が重要
- 視覚障害者が普段触れることができないウィルスの形を3Dプリンターで拡大して触ったり、象を小さくして触ったりできるというような、作ったものを障害を抱える方と共有する場になると面白い交流ができる。
- 国会図書館には“みなサーチ”というアクセシブルな書籍を検索する仕組みがある。国立国会図書館との連携、アクセシビリティを考えてほしい。

「Library for Creation（創造・交流図書館）」について、様々な切り口から考える

いただいた御意見等から、クリエイションに新しい編集の視点を入れる

○関係のクリエイション

- ・文化発信的かつ、最先端が呼吸できるエリアである「東京・渋谷」に集まる様々な属性の人が生み出す化学変化
- ・知りたい情報・新しい情報や、まだ見ぬ本との出会い

○時間のクリエイション

- ・タイムレスな貴重な資料、時間・時空を超えて学びの成果が蓄積されていく場所
- ・日や時間によって様々な顔を見せる可変性のあるつくり

○空間のクリエイション

- ・学びに来ることが、新しい渋谷のカッコいい過ごし方につながる
- ・シームレスで開かれた場、多様なアクセスが可能で、その都度違う雰囲気ですら1日を過ごせる場所
- ・静かに過ごす・交流する等、誰しもが多様な過ごし方が認められている空間づくり

○五感のクリエイション

- ・充実した本、映像、多様な人々との出会いを通じて、新しいことを学ぶ楽しさ、知る喜びと出会う
- ・五感を使って様々な体験ができる

○社会のクリエイション

- ・東京という巨大都市圏の強みを生かし、あらゆる分野のハブとして、グローバルに様々な国との結節点になる
- ・視野が広がることで、自分を取り巻く都市や社会を変える可能性、新しい東京をつくる可能性に気付く
- ・誰もが行きたくなる、東京のシンボルとなる建物

分類したクリエイションと活動イメージについて、他施設の例で考察

○関係のクリエイション 様々な属性の人が生み出す化学変化、まだ見ぬ本との出会い

目にする 気付く 繋がる 語らう



出典：GRAND GREEN OSAKA 公式HP



出典：ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス 公式HP



出典：YAMATOMIRAI 公式HP



出典：みんなの森 岐阜メディアコスモス 公式HP



出典：石川県立図書館 公式HP



出典：石川県立図書館 公式HP



出典：こども本の森 中之島 公式HP

分類したクリエイションと活動イメージについて、他施設の例で考察

○時間のクリエイション タイムレス、可変性、学びの蓄積

発表する

伝える

蓄積する

広げる



都立中央図書館
特別展示にて貴重資料を展示



都立中央図書館 資料保全室



出典：石川県立図書館公式HP



出典：せんだいメディアテーク 公式HP



出典：茨木市文化・子育て複合施設 おにクル 公式HP

分類したクリエイションと活動イメージについて、他施設の例で考察

○空間のクリエイション 日によって雰囲気が異なり、多様な過ごし方が可能

集中する 魅せる リラックスする



出典：石川県立図書館 公式HP



出典：東海国立大学機構（ComoNe） 公式HP



出典：ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス 公式HP



出典：茨木市役所公式HP



出典：石川県立図書館 公式HP



出典：こどもほんの森中之島 公式HP



出典：ヘルシンキ中央図書館 公式HP

分類したクリエイションと活動イメージについて、他施設の例で考察

○五感のクリエイション 新しいことを学ぶ楽しさ、知る喜び、五感を活用

触れる

遊ぶ

演奏する

知る

尋ねる



出典：茨木市役所 公式HP



出典：魔法の文学館（江戸川区角野栄子児童文学館）公式HP



出典：千代田区の文化財 公式HP



出典：ヘルシンキ中央図書館 公式HP



出典：岡山県立図書館 公式HP



出典：ちえなみき 公式HP



都立中央図書館
豊富な蔵書をもとに様々な疑問に応える高度・専門的な
レファレンスサービス

分類したクリエイションと活動イメージについて、他施設の例で考察

○社会のクリエイション

グローバル、都市や社会との繋がり、東京のシンボル

憧れる

愛着がわく

詳しくなる



都立中央図書館
都立図書館が所蔵する世界各国の豊富な蔵書を活かした、大使館と連携した企画展示



出典：石川県立図書館 公式HP



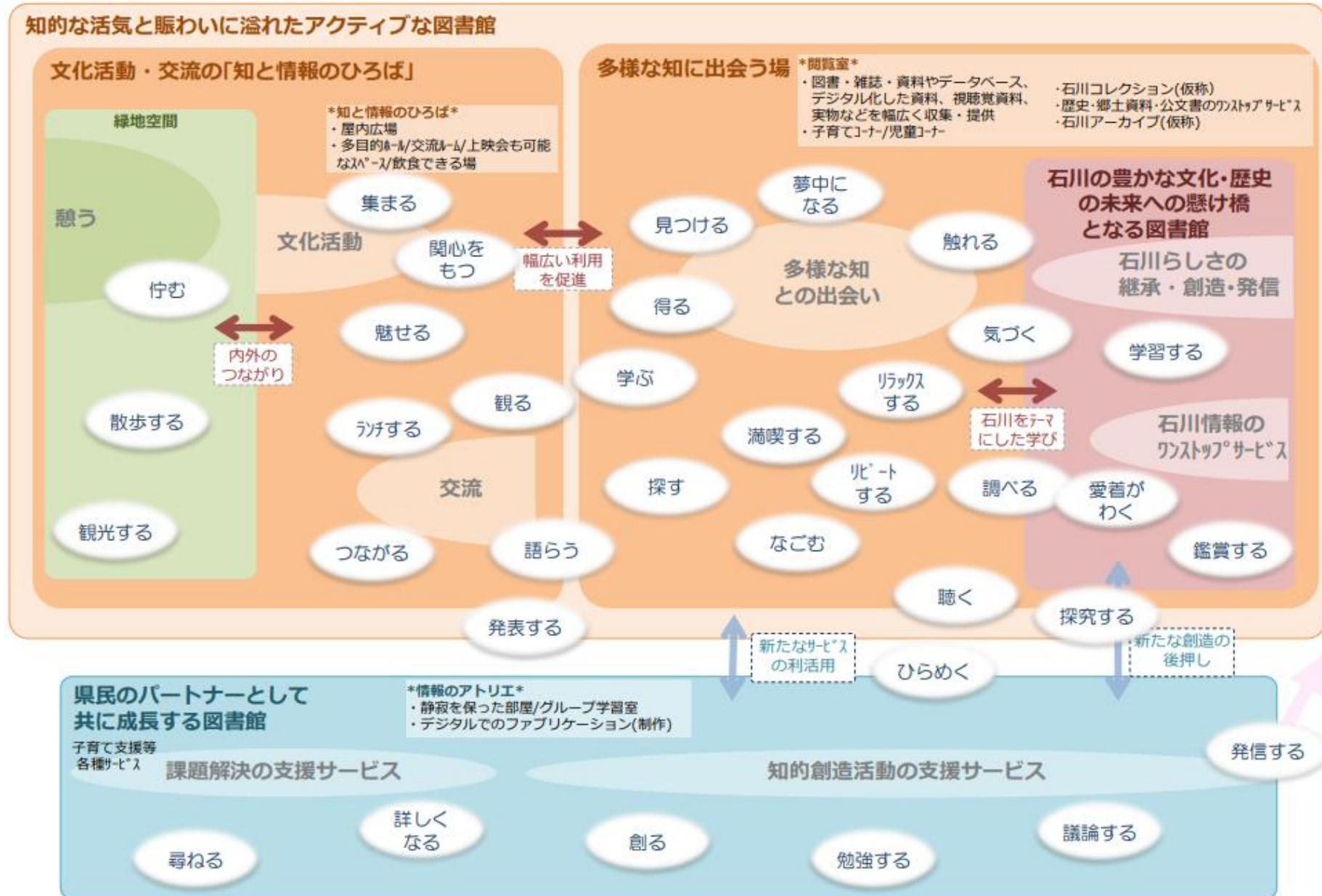
出典：ヘルシンキ中央図書館 公式HP



出典：ダーリングスクエア図書館 公式HP

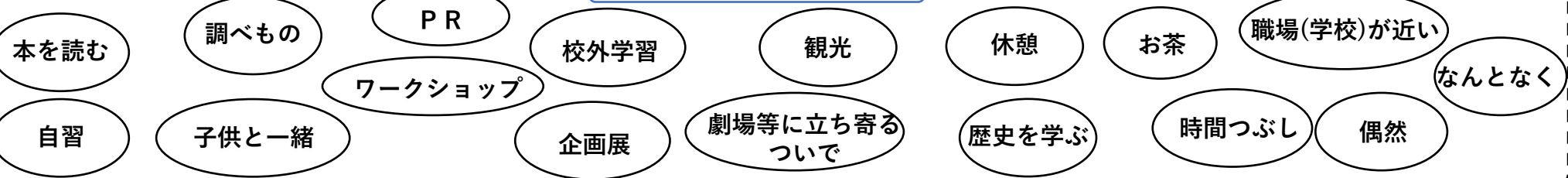
(参考) 石川県立図書館基本構想より 利用者視点での図書館での活動イメージ

知のピオトープ (多様な知の生態系をイメージ)

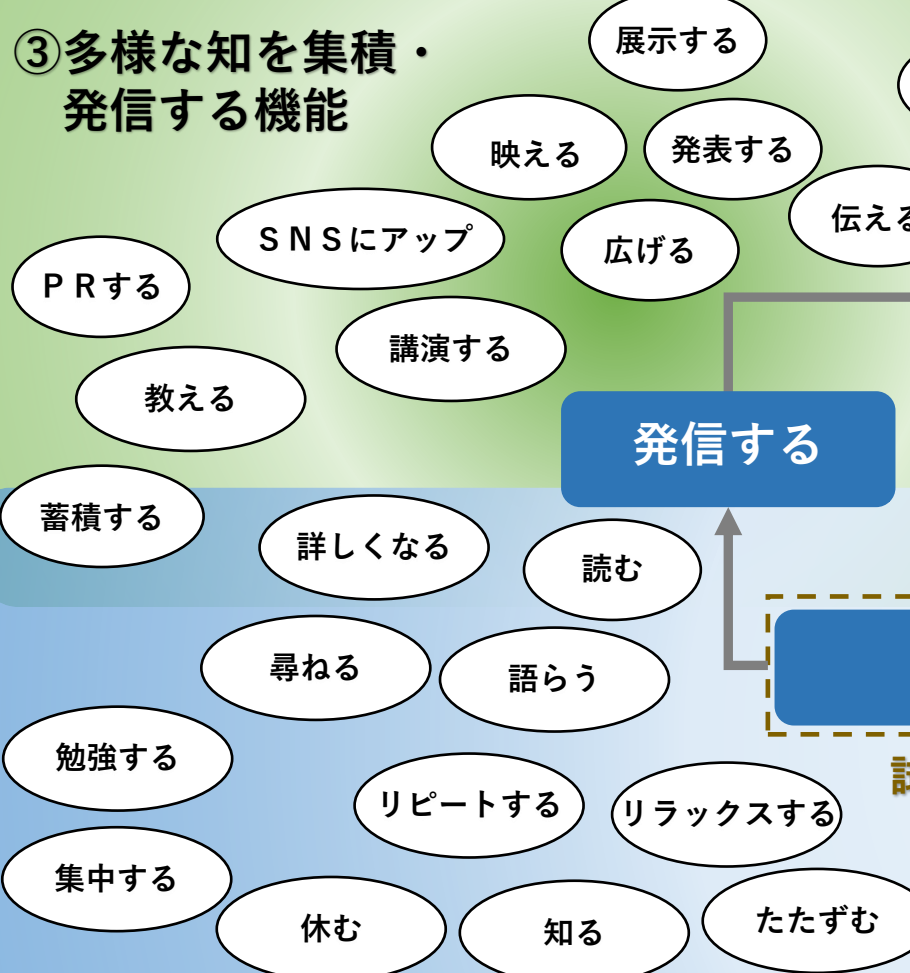


クリエイションを生み出すプロセスについて、利用者視点での図書館での活動イメージから考察

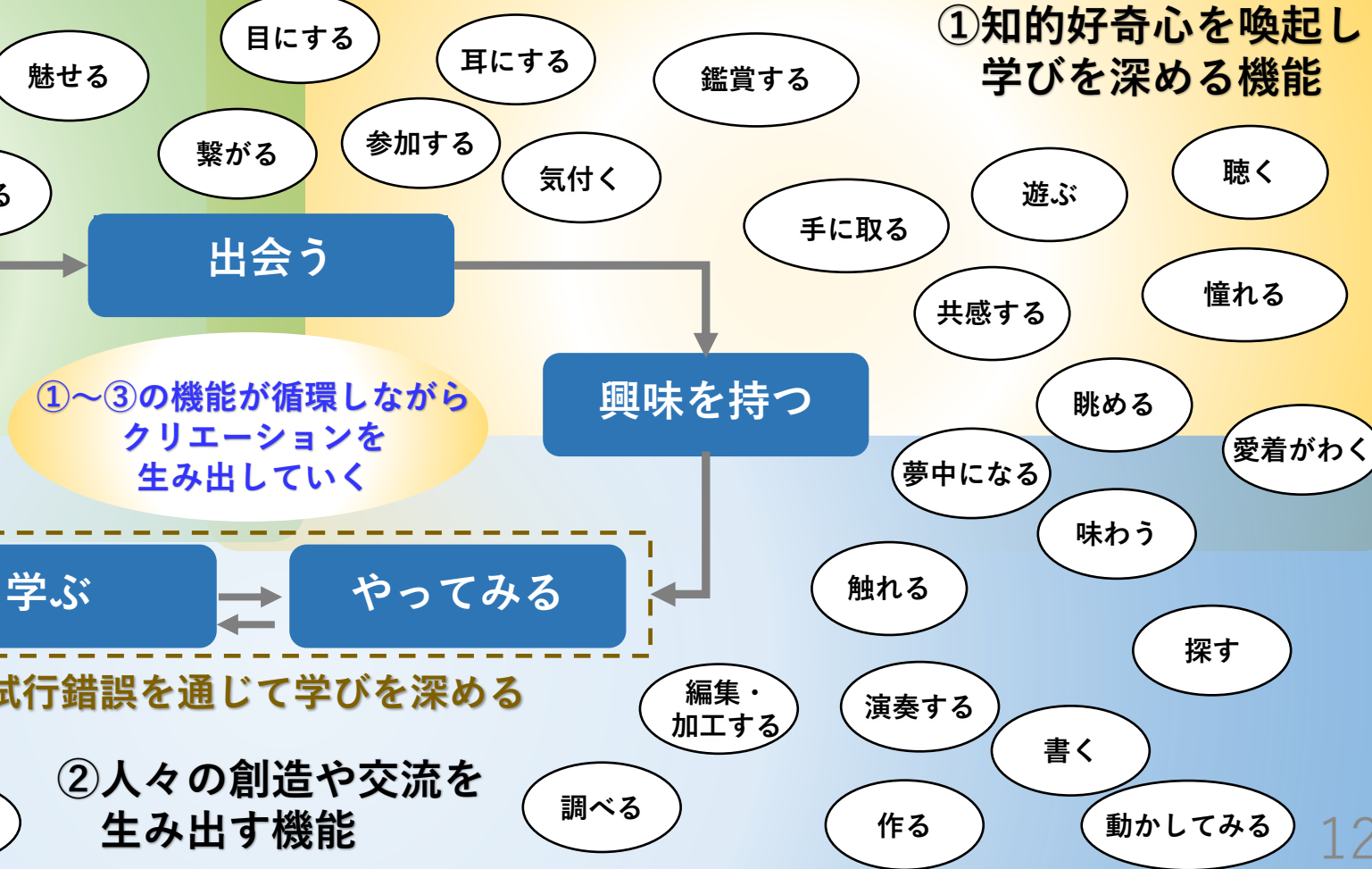
図書館に来る目的



③多様な知を集積・発信する機能



①知的好奇心を喚起し学びを深める機能



①～③の機能が循環しながら
クリエイションを
生み出していく

試行錯誤を通じて学びを深める

②人々の創造や交流を生み出す機能

図書館に設けるサービス・空間のイメージ

出会う

(例) 東京・渋谷での様々な人が生み出す化学変化 → **関係のクリエイション**

繋がる

参加する

耳にする

(例) シームレスで開かれた場 → **空間のクリエイション**

- 屋外とシームレスに繋がり、日々実施される多彩なイベントや展示等を通じて、知との出会いや人々の交流を促すオープンスペース
- 人々が気軽に交流可能なラウンジ



出典：GRAND GREEN OSAKA 公式HP



出典：大和市文化創造拠点シリウス



出典：福知山市教育委員会 公式HP

(例) 知りたい情報・新たな情報や、まだ見ぬ本との出会いがある → **関係のクリエイション**

気付く

鑑賞する

目にする

(例) グローバルな視野を広げる、東京という都市の今と歴史について学んでみる → **社会のクリエイション**

- 広範囲かつ豊富な資料との偶然の出会い（セレンディピティ）を起こす充実した開架スペース
- 知的な発見や交流を促し、知的好奇心を喚起する書店
- 展示等で様々な国との出会いがある
- 都立図書館の強みである江戸・東京について深く学べたり、東京の名所等の情報を提供するスペース



出典：石川県立図書館 公式HP



出典：ちえなみき 公式HP



都立中央図書館 大使館との連携展示

図書館に設けるサービス・空間のイメージ

興味を持つ

(例) デジタルブック展示や遊びながら新しいことを知る体験をする → **五感のクリエイション**

- 幼児・児童が遊びながら知とふれあう体験学習が可能
- デジタル技術等を活用し、本の世界を五感で体感

夢中になる 共感する

遊ぶ



出典：茨木市役所 公式HP



出典：魔法の文学館（江戸川区角野栄子児童文学館）公式HP



出典：Harbourfront Library 公式HP（シンガポール）

(例) 味わったり、一息ついたりできる → **五感のクリエイション**

- 軽飲食をとりながら休憩が可能なスペース
- 食文化を学びながら、実際に調理が可能
- 東京の特産物やグッズ、ものづくり等に必要な材料を調達もできるショップ

味わう

眺める

手に取る



出典：千代田区立図書館 公式HP



出典：石川県立図書館 公式HP

図書館に設けるサービス・空間のイメージ

やってみる

(例) 工作する、演奏する等様々な体験ができる → **五感のクリエイション**

- 様々な工作機器を使って、自分の手を動かしてのものづくり
- 画像処理・デザイン、動画編集等、デジタル機器を活用
- 音楽やダンス等、様々な「やってみたい」に応えられるようなスタジオ機能

作る

演奏する

編集・加工する



出典：浦安市立図書館 公式HP



出典：岡山県立図書館 公式HP



出典：ヘルシンキ中央図書館 公式HP



出典：茨木市文化・子育て複合施設 おにクル 公式HP

学ぶ

(例) 多様な過ごし方が認められ、その都度違う雰囲気でも過ごせる → **空間のクリエイション**

(例) 新しいことを学ぶ楽しさ・知る喜びと出会う → **五感のクリエイション**

- 静かに物思いに耽ったり、くつろいだり、様々な過ごし方を可能にする多様な閲覧席で思い思いに過ごす
- 団欒しながら交流ができる居場所のような空間
- 充実したレファレンスサービスで学びを深める

語らう

尋ねる

調べる



出典：石川県立図書館 公式HP



出典：石川県立図書館 公式HP



出典：武蔵野プレイス 公式HP



都立中央図書館 総合案内・相談

図書館に設けるサービス・空間のイメージ

発信する

(例) 様々な顔を見せる可変性のあるつくり → 時間のクリエイション

- イベント・コンサート・講演会等、多様な発信が可能で、様々な発信者との出会いを実現するホール
- 利用想定に応じて、多目的に対応が可能

発表する

講演する

魅せる



出典：山形テルサ 公式HP



出典：石川県立図書館 公式HP

(例) タイムレスな貴重資料を活かした展示、時間・時空を超えて学びが蓄積されていく → 時間のクリエイション

(例) 誰もが行きたくなる、東京のシンボルとなる建物 → 社会のクリエイション

- 豊富な所蔵資料等を用いた常設展・企画展
- 利用者が作り出した学びの成果や経過をコンテンツとして集積・発信
- 思わず行ったことを自慢したくなるような魅力的な外観

蓄積する

映える

展示する



出典：千代田区の文化財 公式HP



出典：ヘルシンキ中央図書館 公式HP

創造・交流図書館を体現させるための空間構成（例）

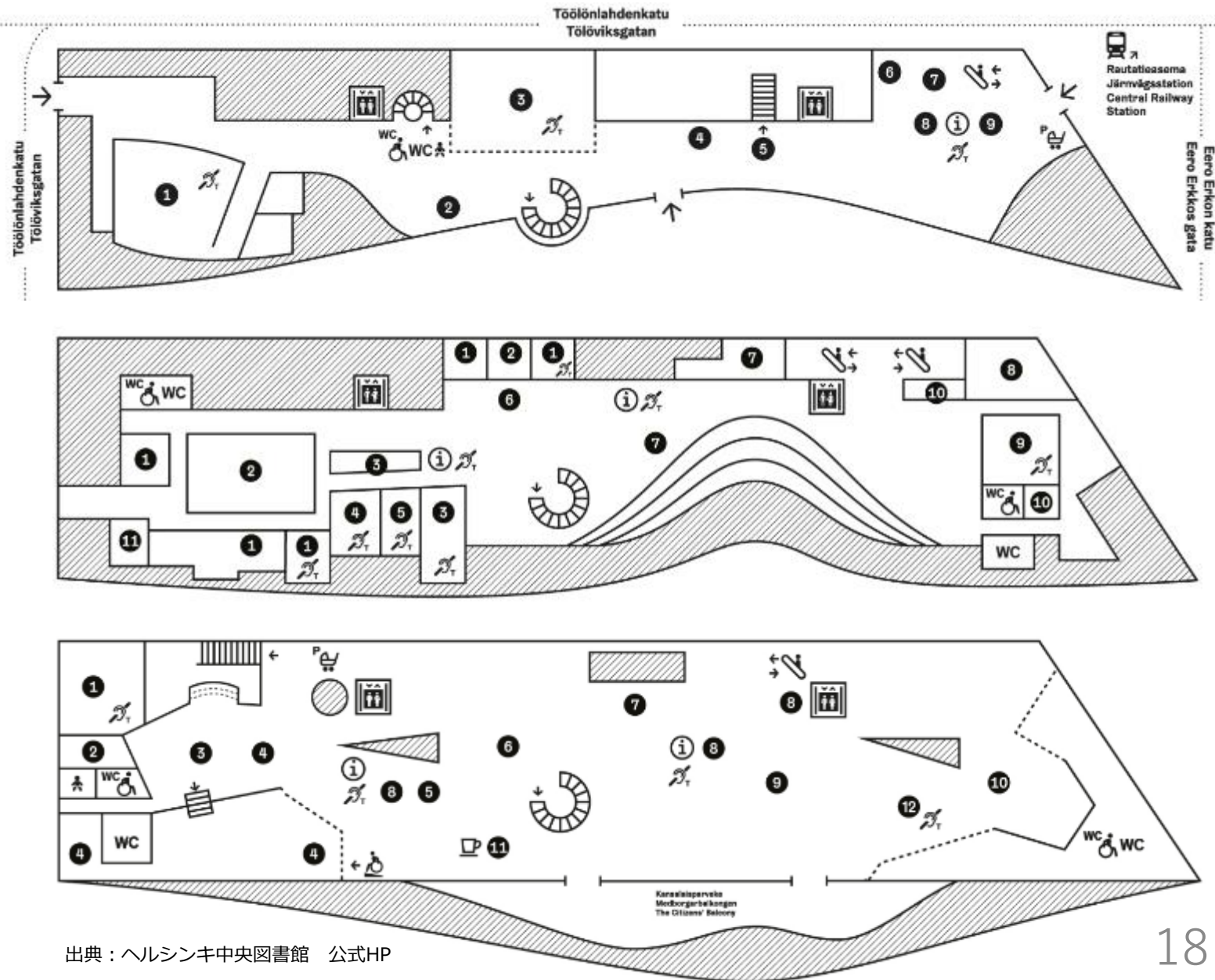
【参考事例：Oodi（ヘルシンキ中央図書館）】

○1階にロビー、ホール、レストラン、映画館等があり、様々なイベントや講演会、ミーティング、演奏会等を実施。知らない人同士が出会い、交流が生まれる仕組みとしても機能。

○2階には音楽スタジオ、VRゲーム室、メイカースペース、学習室等が置かれ、最新の技術・設備を用いた創作活動による学びの場を形成。交流しながらものづくりや創作活動等、作業に没頭できる空間として機能。

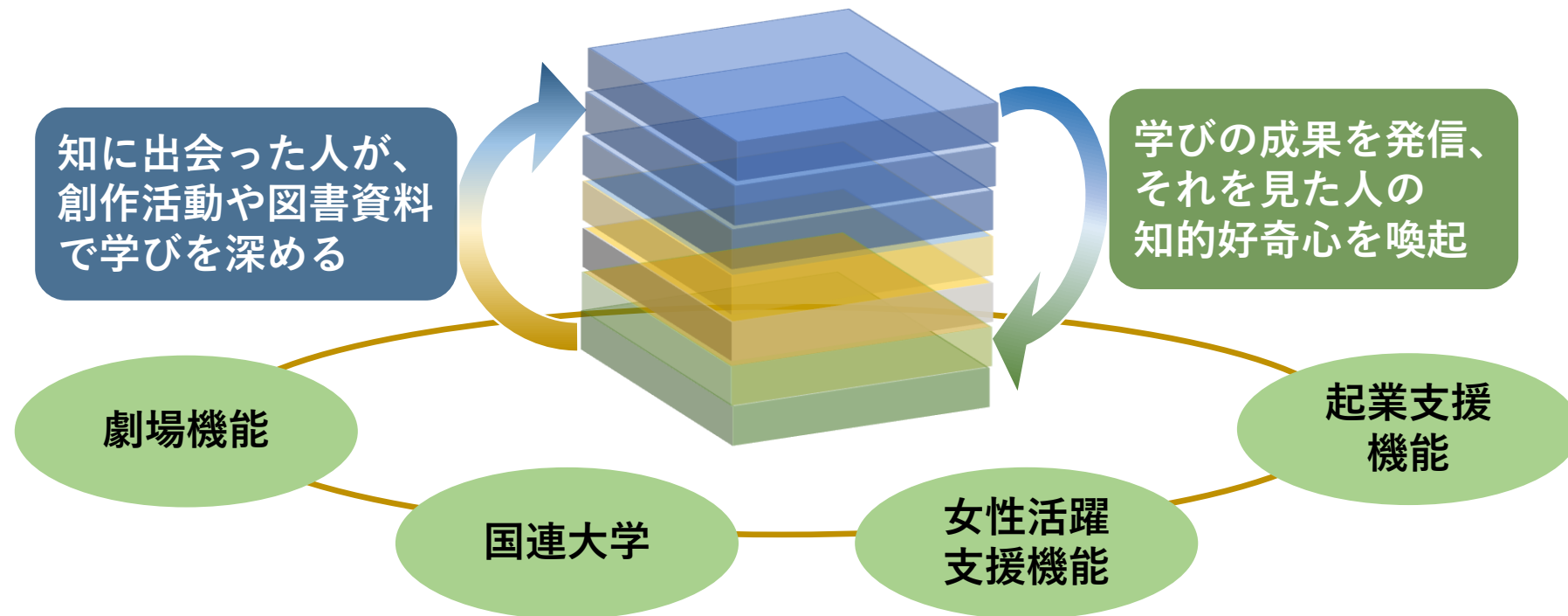
○3階は読書フロアが広がっている。

⇒低層階～上層階にかけて、交流できる場、ものづくりの場、静かに過ごせる空間がグラデーションをもって構成されている



創造・交流図書館を体現させるための空間構成イメージ

- 新たな図書館では、人々の創造・交流を生み出す拠点として開かれたシームレスな交流空間を形成
- 知との出会い、多様な創作や深い学び、智の集積・発信の機能を備えた空間・設備を設け、施設全体で智の循環を実現
- デジタルを活用して、映像、音楽、本などの知と触れ合う仕掛けにより、場所の概念を超えた知との出会いを提供
- 事業者等の創意工夫を生かした提案により、まちの他の機能との相乗効果を最大限に発揮できる構成に



まちづくり方針と都立中央図書館の整備手法（イメージ）

1.神宮前五丁目地区まちづくり方針（R7.4.10）

将来像

誰もが集い・つながる、開かれた「智の創造拠点」

- ・機能間の連携により、子供をはじめとした多様な人々の交流や創造活動が、新たな文化・アイデアの創造、個々人の成長につながる場
- ・多様な過ごし方を選択でき、心の豊かさを実感できる、憩いと交流の場

<当地区全体で役割を果たす機能>

創造・交流機能

訪れる人の知識、創造性及び好奇心を育むとともに、人々の活動・交流の受け皿となり、人々の個性や可能性を開く。

こどもの体験機会創出機能

乳幼児から中高生まで、子供の興味・関心に応じて多様な体験ができる場を創出することで、子供の将来の可能性を広げるとともに、子供を育てる親にも親同士の交流機会や憩いの空間を提供

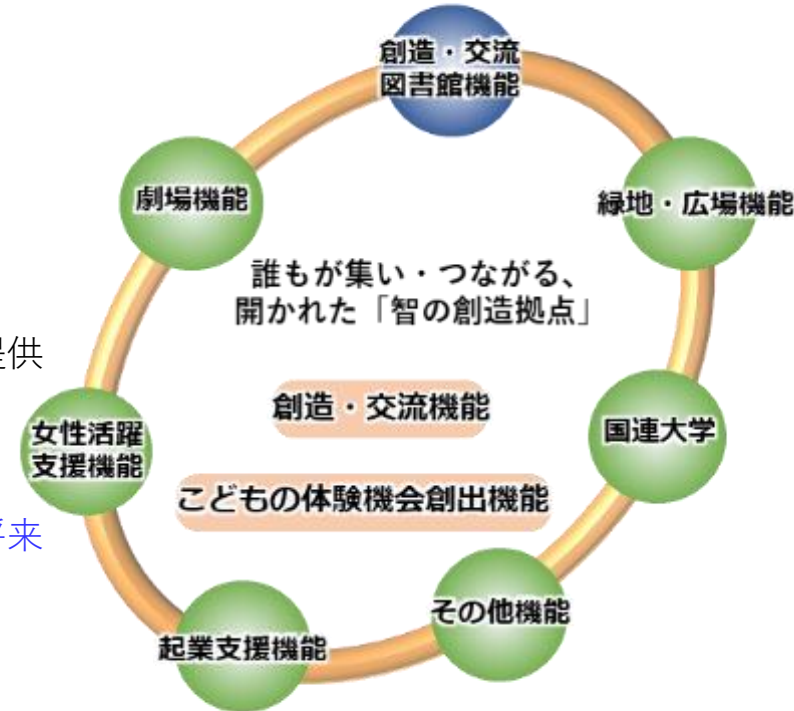
<軸となる機能>

創造・交流図書館機能（都立中央図書館）

創造・交流図書館を軸として、その他の導入機能と連携し相乗効果を発揮しながら、まちの将来像を実現していく。

<各機能>

劇場機能、女性活躍支援機能、起業支援機能、国連大学、緑地・広場機能、その他機能



2.まちづくりの事業スキームおよび創造・交流図書館（都立中央図書館）の整備手法イメージ

- ・公募で選ばれた民間事業者と都が定期借地権設定契約を締結し、**所有地を貸付け**
- ・民間事業者が図書館、劇場、広場、民間施設等を整備 ⇒ **創造・交流図書館を都が買取り（区分所有）**
- ・図書館以外の施設は民間事業者が管理運営（一部都が賃借）

【御意見を伺いたい事項】

①新たな中央図書館で実現するサービスや空間のイメージ

②クリエイションを生み出すプロセス・仕掛け

③創造・交流図書館を体現させるための施設構成

- ・交流ができる空間、ものづくりの空間、静かに集中して本を読める空間など、多様な利用者にとって居心地の良い空間づくり

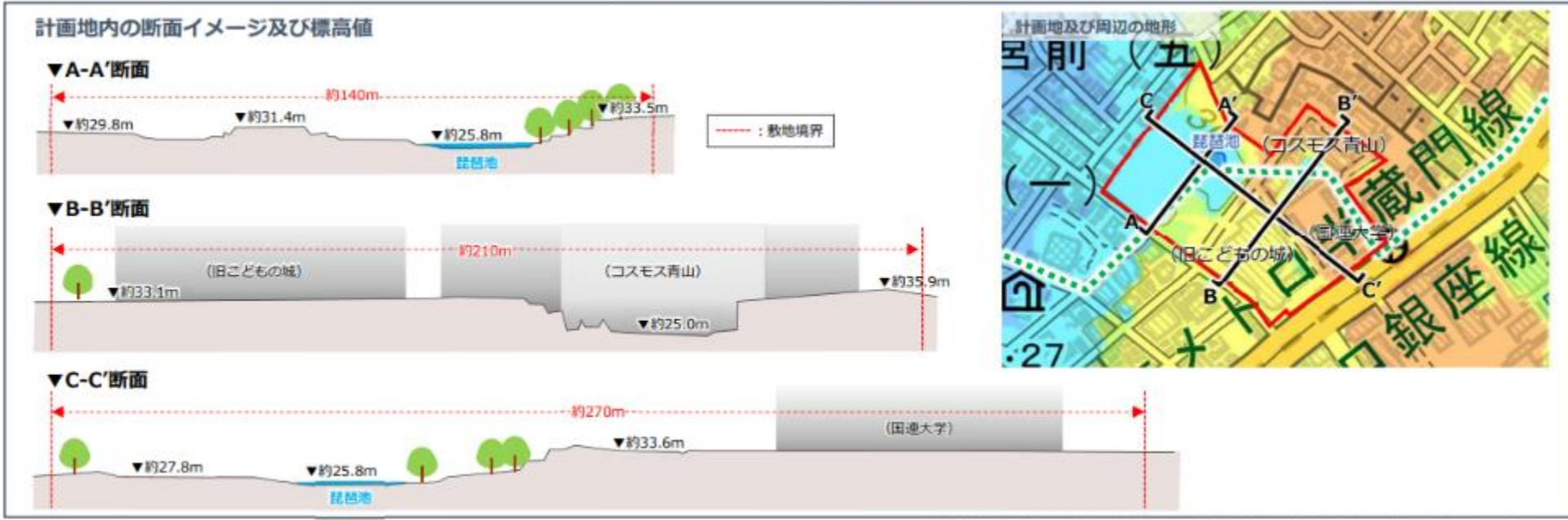
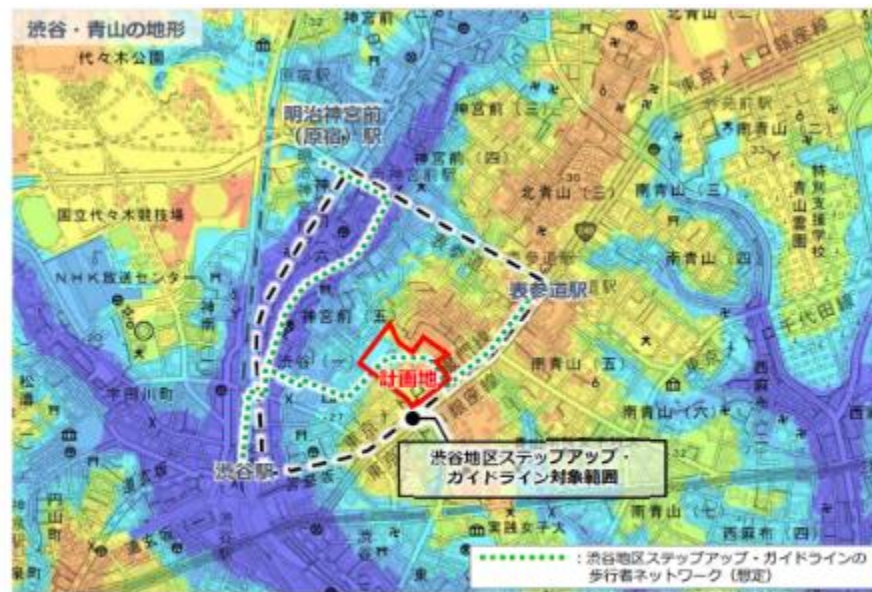
④東京の中心、渋谷（神宮前五丁目地区）に位置する図書館としてのご意見

（他の図書館では成功している事例でも、東京都で実施するとしたら上手くいかないのではないか、もしくは他の図書館では実施していないが、東京都であればこういうことを実施すれば面白いのではないか、等）

①計画地及び周辺の地形

(○…強み △…課題)

- 計画地内では高低差があり、自然環境等への視認性が高いと想定される。
- △ 渋谷駅やキャットストリートなどで谷地形を形成し、計画地周辺と比べて最大で20m程度の高低差が生じていることから、バリアフリーの配慮やまちあるきの快適さに課題がある。



(※) 各平面図・断面イメージは国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の標高データを基に作成

検討の背景

都立中央図書館の施設で老朽化が進行。また、DXの進展など社会環境の変化や、海外の図書館等で従来の閲覧提供機能に加え、新たな価値や機能を提供していることを踏まえ、再整備を見据えて新たなコンセプトや機能等を検討

社会環境等の変化

- 都市課題のグローバル化やDXの進展等
- 北欧の図書館等で文化的な対話の場、多様な学びの場など新たな価値や機能を提供

世界の図書館の潮流

デジタル技術を活用した展示や創作活動の場の提供

➢ デジタル技術を活用した大型スクリーン展示。デジタル工作機器による創作
利用者同士の対話・交流や、様々な分野・情報に触れて学ぶ機会を提供

➢ ワークショップなどを開かれた場所で実施。イベントや講演会、展示などを常時実施



大型スクリーンによる展示



利用者同士の対話・交流

新たな都立中央図書館について

デジタル社会におけるリアルな図書館の意義は、本から必要な情報を探すことにより物事を俯瞰できたり、偶然手にした本から多様な情報が得られ、意外な発想や新たな発見を生むことにある

コンセプト

「Library for Creation（創造・交流図書館）」 図書館を新たな智を生み出す空間と捉える

新たに付加する機能

知的好奇心を喚起し学びを深める

- 子供や障害者など、多様な人々が気付きを得る体験をする
- 所蔵資料を基にした学びや体験をする

人々の創造や交流を生み出す

- 多様な形で、人々が創造に取り組むことができる
- 人々が交流し、気付きや思索のきっかけを得る

多様な知を集積・発信

- 活字の本、音楽や映像、人も含めた多様な形態の知が集まり、発信していく

3点の機能が、相互に作用・循環することで新たな智の創造につながるものとする。

- 具体的な取組に当たっては、3点の機能を貫くテーマで事業を実施し、調査研究への貢献という従来の強みを生かしたサービスを展開
- 従来の強みについても、魅力的な開架・閲覧空間の提供、アクセシビリティの確保などにより進化

施設整備の基本的な考え方

- 現地改築では解体・新築工事に伴う休館等により十分なサービス提供が不可能であることなどから、移転して実施
- アクセスが良く、多くの人々が行き交い、周辺に教育機関が集積し様々な活動が展開されている神宮前五丁目地区の都有地に整備
⇒ 当該地区に集積予定の多様な機能と連携しながら、東京全体の智の向上を図る

【ご意見を伺いたい事項】

- 3つの新たな機能を実現するための具体的なサービスや必要となる施設・設備
- サービスを効果的に展開するための仕組み（実施主体・運営手法）
- 神宮前五丁目地区において、周囲の多様な機能と連携し、相乗効果を発揮するための方策

- 新たな都立中央図書館のコンセプトは、「Library for Creation（創造・交流図書館）」であり、図書館を新たな智を生み出す空間と捉える
- 3つの機能が連動し、それぞれの機能に好影響を与えることにより、将来ビジョンを実現するための好循環サイクルを構築するとともに、これらを実現するための環境整備や各種取組を推進するイメージとしている

